

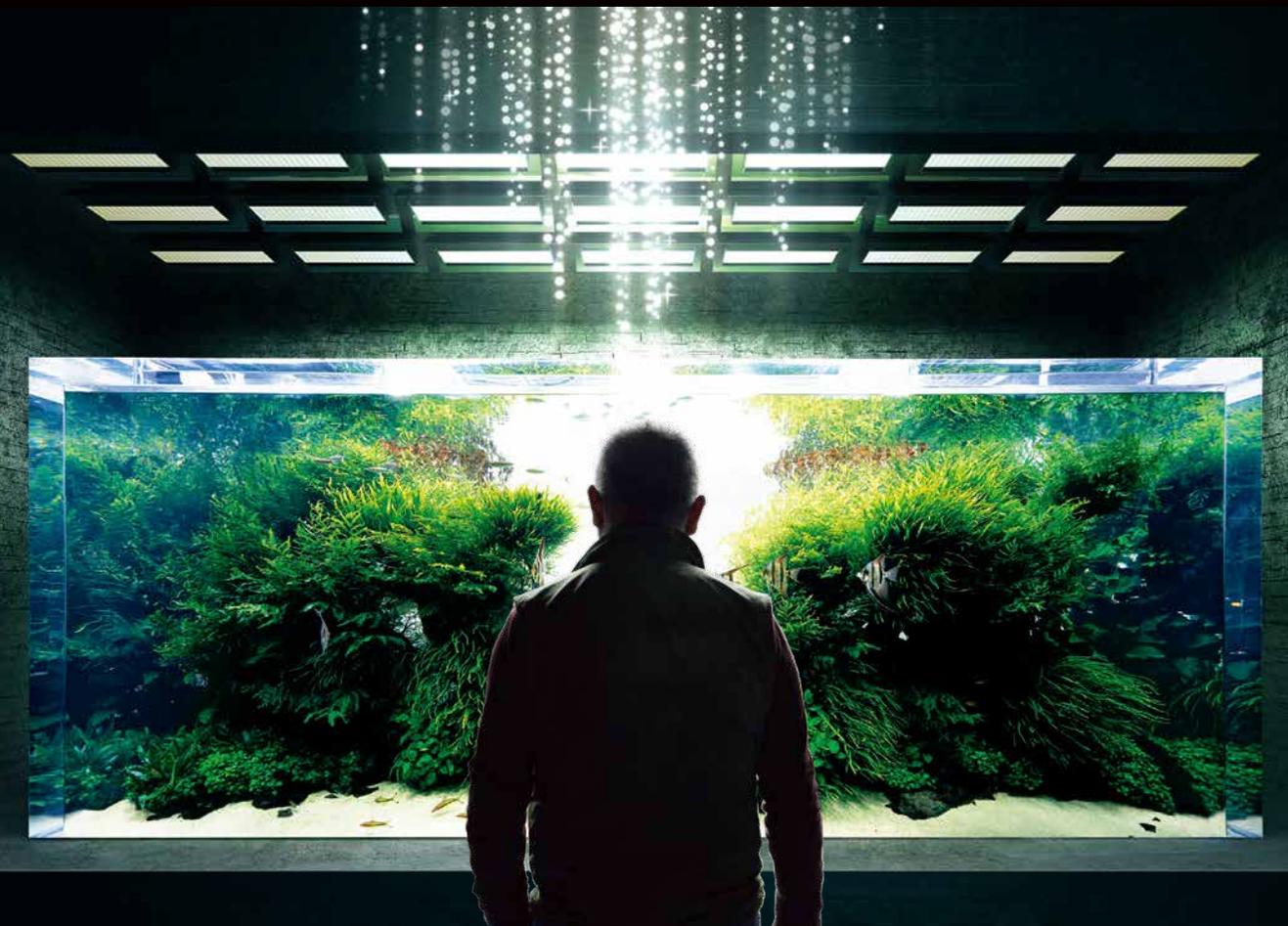


Learn From Nature.



【特集】

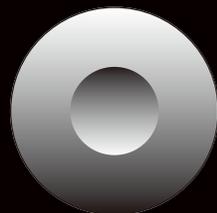
# NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO



# NATURE AQUARIUM EXHIBITION PROJECT

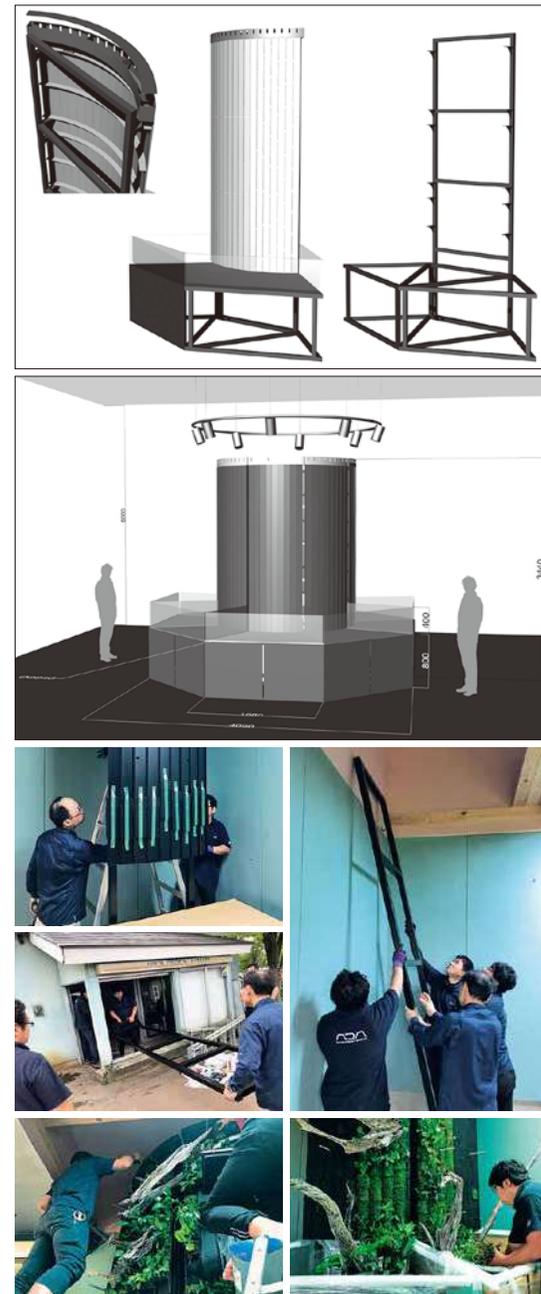
## 「ネイチャーアクアリウム展制作プロジェクトの軌跡」

9月17日より東京ドームシティ、ギャラリーアームにて「NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO」が開催されています。本展では天野 尚がネイチャーアクアリウムを築き上げていくまでの独自の視点を紹介し、さらにその意思を受け継いだ5人のADA水景クリエイターの作品を展示しています。史上最大規模のネイチャーアクアリウム展として準備されてきた本プロジェクトは、企画立案から開催に至るまでチーム一丸となって取り組んできました。ここでは渾身の展示が完成するまでの経過をご紹介します。



NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO

**NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO マークコンセプト**  
中央の球体は地球とネイチャーアクアリウムを表し、その周りの円は自然環境を表しています。ネイチャーアクアリウムは自然環境の縮図でもあり、それを理解して楽しむことは、私たちの心に、そして自然環境に良い影響を与え、自然と人の本来の関係を思い起こさせてくれます。球体と円がグラデーションにより相互に浮かび上がるデザインは、自然環境への意識を持つことが、人と自然とが調和した世界を生み、より良い未来へとつながっていくことを示しています。本イベントでは、そうした意識が広がっていくことを一つの開催意義としています。



### 挑戦と苦悩 未知の水槽システムへの

## CHAPTER 1

2019年4月—

「植物の力や魅力を伝える展示をつくりたい」という共通の想いから、さまざまなアイデアやコンセプトを固めネイチャータワー360°の躯体設計を進めていった。結果、全体として大きな構造を進めることを決定。そのため試作や稼働試験も大がかりとなり一筋縄ではいかないことも多く、苦労の日々となった。

### 巨大タワーとの対峙 試行錯誤の繰り返し

## CHAPTER 2

2021年3月—

タワーの躯体を収容するためには4m以上の高さが必要のため、専用の施設を建設。基本的なシステムのブラッシュアップと並行して、360°どこから見ても楽しめる展示になるようにレイアウトの制作が進んでいく。緊張感のある張り詰めた空気と、新しいものをつくるクリエイティブな熱気が入り混じった不思議な雰囲気となっていた。



水景クリエイター全集中  
怒涛のレイアウト

CHAPTER 3

2021年4月—  
NAギャラリーでは各クリエイターの想いのこもったレイアウトも次々と制作が進んでいった。個性を全面に出した各作品は構想から制作、その後の管理に至るまで用意周到に準備。展示を迎えるまでの間、多くのスタッフが協力して作業にあたっている。ときには意見がぶつかることもあったが、真剣勝負だからこそのもの。



タワーシステム解体  
いざイベント会場へ

CHAPTER 4

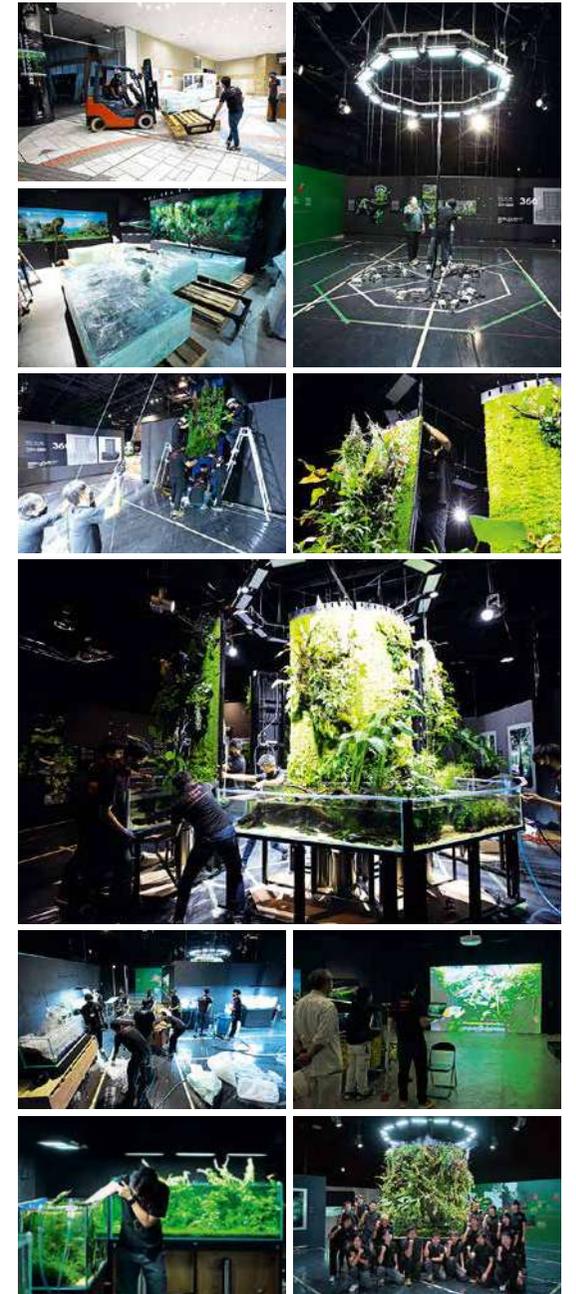
2021年9月9日—11日  
設計時からの課題となっていたタワーの輸送については、本イベントで最も考慮を要した作業といっても過言ではない。梱包・固定方法やトラックの手配、搬出入の経路から作業スケジュールに至るまで徹底した段取りを組んだ上で当日を迎えた。時間と植物の状態を気かけながら、とにかく慎重に作業を進めていく。



新潟から東京へ  
水槽搬出のプロ集団

CHAPTER 5

2021年9月12日  
レイアウトを崩さず安全に運ぶために、各水槽専用の台車や運搬スロープを用意。水草の状態を保ったまま輸送するために、集中力を保ちながら丁寧かつスピーディーに梱包していく。過去の経験がチーム全体に蓄積しているからできる段取り。トラックは保冷、エアサス機能を備えたウイング式の特種車両を総計9台手配。



深夜の搬入作業  
水景たちが目覚める

CHAPTER 6

2021年9月11日 pm11:00—14日 pm13:30  
十数時間前に梱包したばかりの荷を丁寧に、集中力を切らすことなく設置作業を進めていく。長丁場で疲労がたまってくる時間帯ではあるが、ベストの展示を行いたいという思いが最後の踏ん張りとなり、無事に完成を迎えることができた。ADAの技術と情熱が結集して仕上がったこの展示を多くの方にご覧いただきたい。

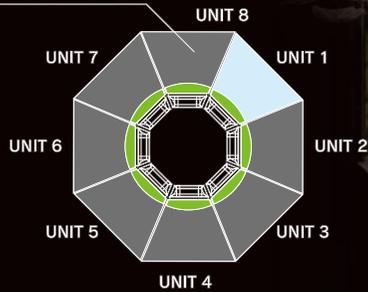
# NATURE IN THE GLASS

Kota Iwahori

## 力ある古木 シダや着生植物が覆う ネイチャータワー360°の顔

【熱帯雨林への誘い】 今回のイベントの特別展示となったネイチャータワー360°。この巨大なレイアウトは8ユニットからなり、それぞれ世界各地の熱帯雨林や水辺をイメージして制作した。このユニット1の眺めはメインビジュアルにもなり、ネイチャータワー360°では最初に出会うエリアだ。東南アジアの中でもマレーシアやインドネシアを中心に周辺の島々までをテーマにしており、一見して重く暗めなレイアウトだが、堂々たる古木と生い茂るシダ類や着生植物が作り出す穏やかな時は、観る者の時間軸とのギャップを生みつつネイチャータワー360°に引き寄せる狙いがある。

NATURE TOWER 360° VIEW



### ネイチャータワー360°ミニ解説

UNIT1~2の東南アジアエリア、UNIT3のインドエリアへ向けてレイアウトも少しずつ開放的になり、水中の華やかさも増してくる。



### DATA

- 撮影日 2021年9月22日(ADA)  
 制作 岩堀 康太(レイアウト制作)  
 植物 ヒドロコティレ・ミニ  
 ニューラージリーフハイグロフィラ  
 フィカス・ピローサ  
 ペゴニア・ポリロエンシス  
 ペゴニア・ドラコベルタ  
 ペリオニア・レバンス  
 メティセラsp.  
 ネベンテス・アンブラリア  
 ネベンテス・サンギネア  
 ウトリクラリア・ストリアツラ  
 ハルボフィラム・タイヤナム  
 ハルボフィラム・メテューサ  
 セロジネ・スベシオーサ  
 クリプトコリネ・アフィニス  
 クリプトコリネ・ボンテデリフォリア  
 クリプトコリネ・ブラッシー  
 プセファランドラ・キシイ  
 プセファランドラ・シンタン  
 プセファランドラ・ティープブルー  
 ピプトスバサ・リドレイ  
 ホマロメナsp.レッド  
 ホマロメナsp.シルバー  
 ヤマサキカズラ  
 ラフィドフォラ・クリプタンサ  
 ラフィドフォラsp.タイ  
 シマクワズイモ  
 タマシダ  
 ゴニオフィレウム・ベルシシפורウム  
 アジアンタム・マイクロフィラ  
 シマオオタニワタリ  
 ミクロソラム・プテロプス  
 ミクロソラム・ナローリーフ  
 ミクロソラム・トライデント  
 ジャワフアン  
 フベルジア・ヌムラリフォリア  
 フベルジア・ゴエベリー  
 プラティケリウム・リドレイ  
 クリスマスモス  
 ビーコックモス  
 ハイゴケ  
 コツボゴケ  
 タマゴケ  
 ツヤゴケ ほか  
 オリジナス・ウオウオラエ  
 ラスボラ・カロクロマ  
 アンティウス・ロムボウケラートゥス  
 スファエリクティス・セラタネンシス  
 サイアミーズ・フライングフォックス  
 オトシングル  
 ヤマトヌマエビ

### 魚種

# NATURE IN THE GLASS

Kota Iwahori

## DATA

撮影日 2021年9月22日 (ADA)  
 制作 岩瀬 康太 (レイアウト制作)  
 植物 ニューラージ・パールグラス  
 ビグミーマツシユルム  
 アマゾンチドメグサ  
 アラグアイアレッドシャープリーフハイグロ  
 アマゾンハイグロ  
 ルドウィジア・イングリナータ  
 ルドウィジア・イングリナータ・グリーン  
 アラグアイアレッドロタラ  
 バコパ・オーストラリス  
 イエローバコパ  
 アルテルナンテラ・リラキナ  
 ミリオフィラム・マトグロッセンセ  
 ブラジリアンフラジャイルプラント  
 ベゴニア・テルマエ  
 ベゴニア・メタクロア  
 シナムラサキツクサ  
 パツフロラ・アラタ  
 エビスシア・クブレアータ  
 エキノドルス・テネルス  
 エキノドルス・テネルス・マティラ産  
 エキノドルス・ラチフォリウス  
 エキノドルス・ウルグアイエンシス  
 エキノドルス・ウルグアイエンシス・バリエガータ  
 エキノドルス・マヨール  
 エキノドルス・アルゼンチネンシス  
 エキノドルス・オセロット・ロングリーフ  
 エキノドルス・ローズ  
 エキノドルス・オシリス  
 エキノドルス・オバウス  
 ウォーターボビー  
 エイクホルニア・アズレア  
 フィロテンドロン・ブランディアヌム  
 ウトリクラリア・ネルンピフォリア  
 カトレヤ・ルンティ  
 テイランジア・ウスネオイデス  
 テイランジア・ストレプトカルバ  
 テイランジア・ヘテロモルフア  
 フリーセア・ランナエ  
 インコアナナス  
 サンゴアナナス  
 エクメア・ピネリアナ var. ミヌータ  
 アジアンタム・ベルビアヌム  
 セラギネラ・エリスロプス  
 クリスマスマス  
 ウイローモス  
 ビーコックモス  
 ハイゴケ  
 コツボゴケ  
 チョウチンゴケ  
 ツヤゴケ ほか  
 インバイクテイス・ケリー  
 レッドファントム・テトラ  
 ブラックファントム・テトラ  
 スーパーレモン・テトラ  
 テトラオーロ  
 サイアミーズ・ライングフォックス  
 オトシンクルス  
 ヤマトヌマエビ

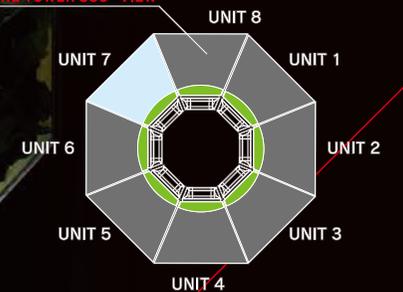
## 魚種



## エキノドルスが集う 南米の水辺

【エキノドルスの水辺】このエリアは、南アマゾンからアルゼンチンのラプラタ川流域までとても広い範囲を凝縮しており、熱帯雨林というよりもカンボヤグランチャコ、パンパなどにある川や湿原をイメージしている。そのため水面を広く取り、アマゾンチドメグサやニューラージ・パールグラスなどを配植し壁面の下部にまで水辺を広げた。ここではさまざまなエキノドルスを植栽したが、原種だけでなく改良品種も迷わず取り入れた。これは、水槽の中で水草を楽しむ文化をつくり上げてきた偉大なる先人たちへのリスペクトの意味も込めている。

NATURE TOWER 360° VIEW



### ネイチャータワー360°ミニ解説

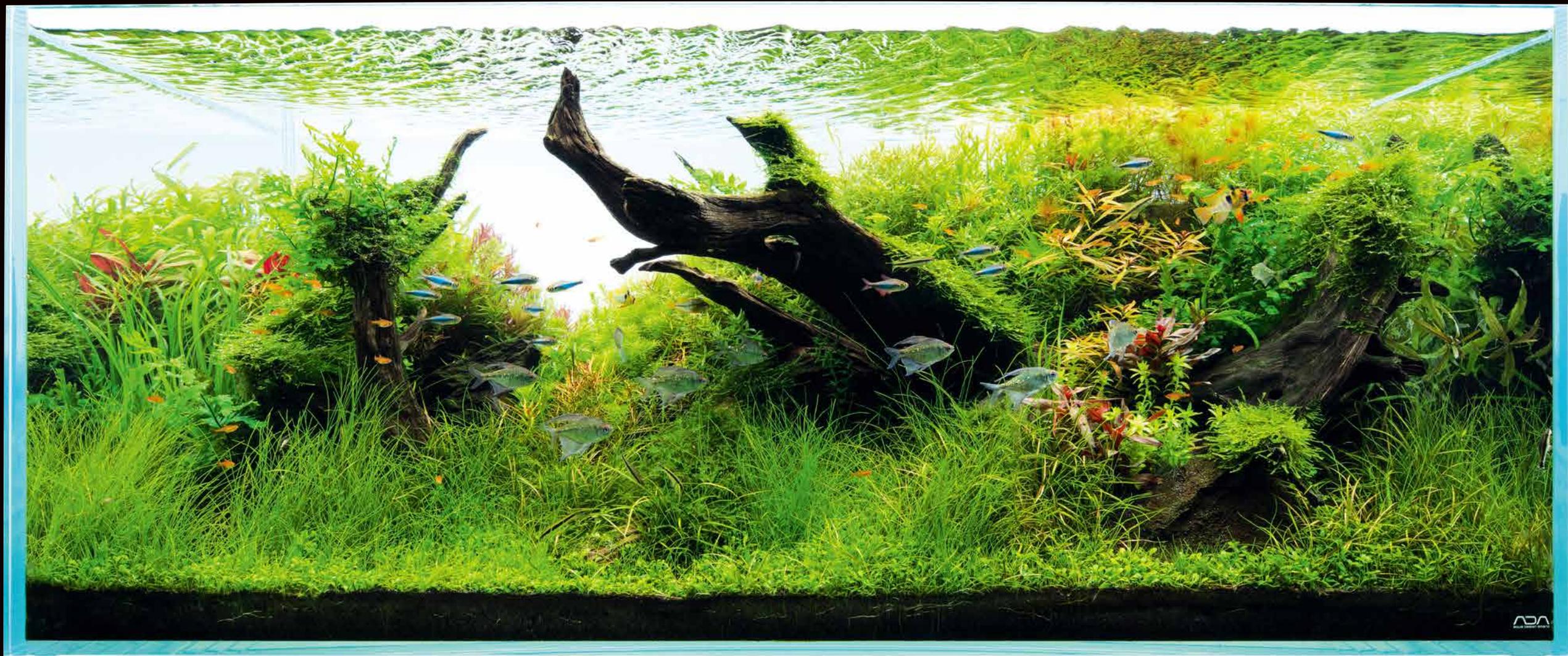
マダガスカルとアフリカエリアをテーマにしたUNIT4,5を過ぎると、UNIT6~8の中南米エリアで水辺を巡る旅は締めくくられる。

長い冬が終わり  
春めく新緑の山肌を  
群生美と点在美で表現

【春を謳う】 雪深く長いモノクロームの世界が終りを告げると、新緑の山肌は一気に春めき色とりどりの新緑が美しい景色をつくり上げる。そんな春の新緑の山肌をモチーフに、さまざまな有茎草を配殖した。山々で見かける樹木の群生美と、その中に点在する他の木々の美しいコントラストなど、フィールドに出てこそ気づく自然の表情は実に多い。そんな小さな発見が、この水景の表現に生かされている。



ネイチャーアクアリウムエリアでは冒頭に展示されている。



ADA

©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日 2021年8月18日 (ADA)  
 制作 本間 裕介 (レイアウト制作)  
 水槽 キューブガーデン W120×D50×H50 (cm)  
 照明 ソーラーRGB×2 (1日8時間30分点灯)  
 ろ過 スーパージェットフィルターES-1200 (バイオリオG)  
 素材 ホーンウッド、山水石  
 底床 アクアソイルアマゾン、パワーサンド・アドバンス、バクター100、クリアスーパ、トルマリンBC  
 CO<sub>2</sub> バレングラス・ビートル500、CO<sub>2</sub>ビートルカウンターで1秒に10滴 (タワー使用)  
 AIR リリイ/パイP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分  
 添加剤 プライティK、グリーンプライティ・ミネラル、グリーンプライティ・ニトロ  
 換水 1週間に1度 1/2  
 水質 水温25℃ pH:6.0 TH:20mg/L

水草  
 ロターラsp. インレー  
 ロターラ・マクランドラ ナローリーフ  
 ロターラ・マクランドラ・シモガ  
 ロターラ sp. 福建省  
 ルドウィジア・ベルエンシス  
 ルドウィジア・グランテュローサ  
 ルドウィジア・ブレビペス  
 ミストラノオ  
 ホルピティス・ヒュティロツティ  
 ポタモゲトン・ガイ  
 ポゴステモン・ダッセン  
 ハイグロフィラ・ポリスペルマ  
 タイガー・ハイグロ

*Rotala* sp. 'Inle'  
*Rotala macrandra* 'Narrow Leaf'  
*Rotala macrandra* 'Shimoga'  
*Rotala* sp. 'Fujian'  
*Ludwigia peruensis*  
*Ludwigia glandulosa*  
*Ludwigia brevipes*  
*Pogostemon yatabeana*  
*Bolbitis heudelotii*  
*Potamogeton gayi*  
*Pogostemon* sp. 'Dassen'  
*Hygrophila polysperma*  
*Hygrophila* sp. 'Tiger'

グリーン・ミリオフィラム  
 オレンジ・ミリオフィラム  
 アンブリア  
 アルテルナンテラ・レインキー  
 バコバ・カロリニアナ (ウオーター・バコバ)  
 ヘテランテラ  
 南米ウイローモス  
 BIO ロターラ・ナンセアン  
 BIO ロターラ sp. バングラデシュ  
 BIO ロターラ sp. Hra  
 BIO ヘアーグラス  
 BIO ニードルリーフ・ルドウィジア  
 BIO セイロン・ロターラ

*Myriophyllum hippuroides*  
*Myriophyllum* sp.  
*Linnophila sessiliflora*  
*Alternanthera reineckii*  
*Bacopa caroliniana*  
*Heteranthera zosterifolia*  
*Vesicularia* sp.  
*Rotala nanjean*  
*Rotala* sp. 'Bangladesh'  
*Rotala* sp. Hra  
*Eleocharis acicularis*  
*Ludwigia arcuata*  
*Rotala* sp. 'Ceylon'

魚種

BIO スターレンジ  
 BIO シベルス・ヘルフェリー  
 BIO グロツソステイグマ  
 BIO グリーン・ロターラ  
 BIO エキノドルス・テネルス  
 BIO ウイローモス  
 タイヤモンド・テトラ  
 ファアラガ・テトラ  
 レッド・テトラ  
 ミクログオファアグス・ラミレシイ  
 サイアミーズ・フライングフォックス  
 オトシンクルス  
 ヤマトヌマエビ

*Tonina fluviatilis*  
*Cyberus helferi*  
*Glossostigma elatinooides*  
*Rotala rotundifolia* 'Green'  
*Echinodorus tenellus*  
*Taxiphyllum barbieri*  
*Moenkhausia pittieri*  
*Hyphessobrycon margitae*  
*Hyphessobrycon amandae*  
*Microgeophagus ramirezi*  
*Crossocheilus oblongus*  
*Otocinclus* sp.  
*Caridina multidentata*

# NATURE IN THE GLASS

Yusuke Homma

この水景は、ネイチャーアクアリウムの基本にならない水草の柔らかく繊細な美しさを表現した。30種類以上もの水草を植栽しており、有茎草の持つ明るい印象を全面に押し出した水草の魅力あふれる作品に仕上がった。



隣り合う水草が入り混じることで適度な雑然さが生まれた。

## 1 水草の境界を曖昧にする

水草同士の植栽範囲をあえて明確に分けず、不明瞭となるように植栽を行った。また多種が集まることで生まれる群生美を意識した。



水草による印象の変化

構図の段階で感じる素材の荒々しさを水草が生長し飲み込むことで柔らかい印象に変化させた。



植栽直後のレイアウト／2021年5月24日 撮影

植栽

## 2 点在する美しさ

ポイントで色味や葉の形に特徴のある水草を植えることで、見る人の視線を誘導すると共に群生美の中に存在する美しさを意識した。



背丈の出るスターレンジとルドウィジア・ベルエンシスを中景に植え遠近感の演出を狙った。



混生する水草同士は無作為な美しさを生み、そこに泳ぐ魚たちにも安心感を与えるだろう。





NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO Special Interview

## イベント開催に向けた意気込みと 源流を大きな流れに変える水景制作への思い

ADA 水景クリエイター 内田 成 × 荒木 大智 ADA 水景クリエイター

**内田** 今回のイベント開催にかかる意気込みは、みんなすごいですね。コロナ禍ということもあって、一年以上ネイチャーアクアリウム・ギャラリーが閉館している状態で、ADAのインスタグラムや『アクア・ジャーナル』とかで水景紹介はしてきたんですけど、やっぱり実物のネイチャーアクアリウムをお客様に見ていただける

といううれしさがあります。水景クリエイターも管理スタッフもイベント開催に向けて長い準備期間をかけて、制作とメンテナンスをしてきたので気合いと思いは十分水景に注入できています。

**荒木** 確かに、つくった水景を直接紹介できないというもどかしさがありましたね。ギャラリーアームでの開催は2回目ですが、1回目の開催の

ときは、天野 尚前社長（以下、天野）の作品に頼る部分が大きかったと思います。しかし、今回は5人の水景クリエイターたちが制作した水景だけを展示するわけなので、最初からイベントの作品として水景をつくるという点で、気の持ちようが全然違ったと思います。正直、自分の作品を発表できる場があるといううれしさと同時に、



### NAギャラリーから会場まで

レイアウト制作からNAギャラリー内のメンテナンス、そして会場への搬出・搬入に至るまでクリエイターが先頭に立ち行っている。



ADAのイメージを担う怖さも感じています。

**内田** 正直なところ、天野作品って、ネイチャーアクアリウムのコンセプトの一つでもある長期維持が常に考慮されているので安定したメンテナンスが行えるんですね。多少、管理の粗さが出たとしても作品の持つ強さで高いクオリティを維持し続けられるんですけど、我々水景クリエイターがそこまで見据えて制作し、管理していくという難しさはすごく感じています。

**荒木** そうですね。天野が健在だった当時のことを思い出すと、水景管理においては、水槽を見たときの観察眼が鋭いのはもちろんですが、水や生体の少しの変化に気付くのが非常に早く常に高い水準で水景維持をされていました。今の我々の管理技術とか、もちろんレイアウト制作ってというのはそこから学んだことがベースになっているのですが、チームで行なっている

ことで、判断に甘さが出てしまうことがあります。

**内田** 本当にそこはありますね。今は私が中心になって、水景のメンテナンスをしていますが、天野が今まで一人で作業や指示を行っていた時代から、今度は自分たちで気付いて考える時代になってきていて、その違いはすごく大きいですね。やはりネイチャーアクアリウム・ギャラリーってADAの中核でもあるし、そこに水槽を置いて管理してく上で絶対的な責任は常に感じています。

**荒木** 管理技術とか、レイアウト技術はもちろん、ネイチャーアクアリウムに対する精神性みたいなところを受け継いでいくことも大切なことだと思います。水景クリエイター 5人それぞれの世界観があって、各々の表現を追求しているわけですが、その源流となるのは天野のネイチャーアクアリウムです。これからはそれぞれ

の個性というか作家性も必要となってくると思います。それら5つの小さな流れが源流からの流れに注ぎ込むことでADAの新たな大きな流れを生み出していくのではないのでしょうか。

**内田** そうですね。これからの活動の中で新しい試みや表現にチャレンジして行く上で、過去の流れみたいなものは大事にしないといけないと思います。今回のイベントでは、それぞれのレイアウト表現を展開しているわけですが、基本を捉えたオリジナルに進化することの第一歩のような感覚がありました。ましてや人の心を動かすような表現は、本当に基礎を理解し、経験を重ねないと到達できるものではありません。だからこそ我々はそのことを目指すんですね。

**荒木** もちろん。今回のイベントは我々のスタートでもあり、ここからさらなる大きな流れをつくっていききたいですね。



内田 成 (29)  
Naru Uchida

水景の制作から管理までこなすNACのエース。イベント会期中は東京に滞在し、水景メンテナンスの責任者を務める。会場で見かけたら気軽にお声がけを。愛称はウッチー。



今回の展示水景 水槽サイズ：W120×D50×H50 (cm) 制作：内田 成



荒木 大智 (28)  
Daichi Araki

ネイチャーアクアリウムのクラシカルな雰囲気を残す作風が持ち味とされることに少し困惑気味。海外貿易の仕事もこなし、バイリンガルな水景クリエイターを目指す。



今回の展示水景 水槽サイズ：W180×D60×H60 (cm) 制作：荒木 大智



NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO Special Interview

## 新たな挑戦だったネイチャータワー360° その魅力と専用開発した新システムとは

GREEN LAB (生産開発部) 亀山 喬史郎 × 岩堀 康太 ADA 水景クリエイター

**亀山** ネイチャータワー360°は、今回のイベントではスケールもさることながら、その存在感でひと際目を引く作品になっていますね。形も今までの四角い枠から円柱というまったく新しい構造に変わっていて、新規性の高い展示だと思っています。

**岩堀** そうですね。まず、コンセプトの一つと

して、世界各地の熱帯雨林と水辺ってのがあって、ネイチャータワー360°は8つの水草ウォールを組み合わせることで円柱になっているんですね。8分割の植栽は面ごとにインドネシアとかマダガスカルとか、それぞれの地域の植物や魚を使っていて、ぐるっと周って見たときにそのエリアごとの見た目に変化をつけているので、

今までにない面白い作品になったんじゃないかと思っています。また、水深は浅かったけれど、世界中の水草の魅力も伝えたかったから、水中部分も構図からしっかり作り込みました。

**亀山** 特に水中部分に関しては、水槽の高さが40cmとやや低いことで、水面を上から俯瞰して水草を見ることになるので、いつもの



### 一面ごとの変化を表現

コンセプトは世界一周。育成条件などを考慮し、広大な植栽範囲に的確に植物を配する必要があった。

### 新たなシステムの導入

フォームに植物の状態を入力すると、ミストやスプレーの作動ローテーションに反映されるプログラムを開発。それらの情報はクラウド上に集約され管理されている。



ネイチャーアクアリウムとは違った見方になってますよね。一方で上を向くと陸上植物から見下ろされるような、これまでにない新しい感覚の展示になってるところも特徴ですね。使用している植物は何種類くらいでしょうか。

**岩堀** 250種類くらい使っていて、ところどころ珍しい植物も配しています。でも、変わった植物ばかりではなくて、ジャングルプランツ・シリーズだったり、ウォール部分には佗び草マットとかのADAの生体製品を使っているスペースも多いから、初めて見る方から植物マニアの方まで幅広く、見ていて楽しい内容になっていると思います。ただ、ネイチャータワー360°に関しては、見た目のインパクトもそうだけど、それと同じくらい管理システムにもこだわっていて、特に亀山さんにはエンジニアとして参加してもらい助かりました。

**亀山** ミストやシャワー、ウォールに水が流れる時間をより自然に近い形でコントロールするために、8面それぞれ管理・演出に変化をつけたいという要望を岩堀さんから聞いたとき、面白いアイデアだと思いました。

**岩堀** やっぱりどうしても、テラリウムとかアクアリウムの照明やミストは、人が時間を設定して、その中で生き物たちが飼育されているわけだけど、自然ではそんなことはなくて、きっちり時間が決まっているよりは、自然環境のランダム性を表現として盛り込みたかったです。その結果、ミストスコールシステムができたんだよね。

**亀山** そうですね。どういうシステムかというと、メンテナンス担当者に、8面それぞれの日々の植物の状態の良し悪しをアンケート形式でフォームから送ってもらい、そのデータを

パラメーター化してシステムにフィードバックさせることで、ミストやシャワーの作動時間を、自動で調整してくれるというものなんです。また、システムをランダムに作動させるのではなく、正規分布を取り入れ偏りを持たせることで、より自然界の法則に近い表現を実現させました。プログラム上、毎日シャワーやミストが出るタイミングが変わるので、景観として同じ瞬間がないところというのが個人的にも気に入っています。

**岩堀** アクアテラリウムの規模はもちろんのこと、そういったシステムをメンテナンスに取り入れていることも、従来のやり方から一歩進んだ新しい試みでしたね。まさにネイチャータワー360°は、これからのネイチャーアクアリウムの進歩につながっていく、そんな作品だと思います。



亀山 喬史郎 (22)  
Kyoshiro Kameyama  
アロイド系植物にハマリ中の九州男児。ネイチャータワー360°ではミストスコールシステムの開発を担ったADAの若きエンジニア。



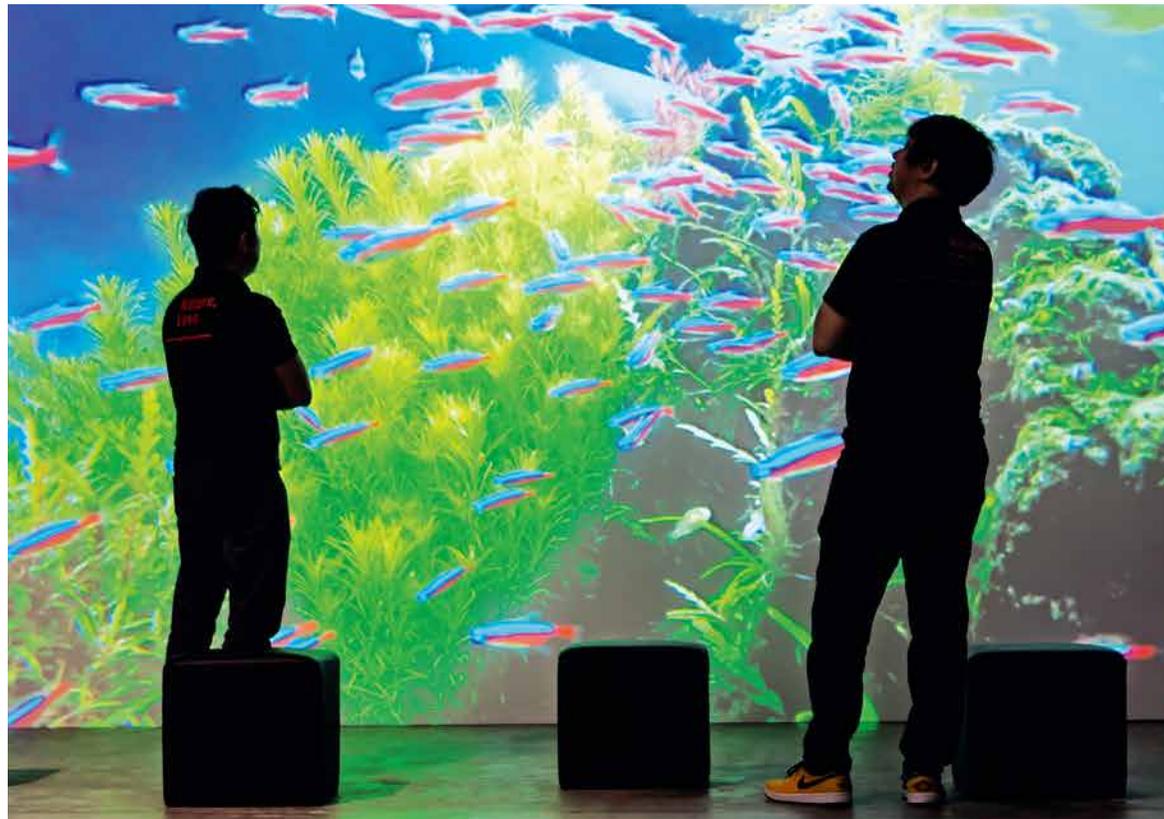
亀山のイチオシ  
展示植物の中で特にお気に入り、アンズリウム・ビツタリフォリウム。まさにタワーにピッタリ!?



岩堀 康太 (34)  
Kota Iwahori  
水と緑の世界の可能性を追求し、この度ネイチャータワー360°を完成させた。最近、スマホで不可能という言葉を検索しても表示されなくなったという(笑)。



今回の展示水景  
全高: 3.5m  
周囲: 13m  
制作: 岩堀 康太



イベント会場では水槽の撮影などもスマートフォンを使って気軽に楽しんで欲しい。写真によって生体の魅力を発見したり、自分の感性を養うこともできる。



すみだ水族館での水中撮影の様子。



### 動画表現の可能性

スマートフォン全盛で5G時代に突入する現在、動画での表現や情報配信はますます重要に。これからはもっと動画を使った展示にも挑戦していきたい。

NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO Special Interview

## ネイチャーアクアリウムでの独自の表現は「創る」と「撮る」の相互作用から生まれる

ADA 水景クリエイター 本間 裕介 × 井上 大輔 ADA 水景クリエイター

**井上** 今回のイベントでは、天野 尚（以下、天野）の風景写真、水景クリエイターが制作した作品、ネイチャータワー 360° など見所は多いです。

**本間** そうですね。天野の写真作品から始めて、それらが伝承されたがごとく後半からは我々 ADA水景クリエイターの作品展示に

なっています。

**井上** 本間さんは水景クリエイターの中でも、天野と仕事した時間が一番長いわけですが、国内外の撮影も一緒に行かれてましたよね。

**本間** 一緒に撮影に行くとかね、毎回すごいなって思うことがあったね。天野は生物全般に詳しくて、現地の自然環境を見て植生の特徴など

もすぐに理解し、撮影が終わると風景の見方などをよく教えてくれました。とにかく観察眼がすごかった。そういった感性が独自のレイアウト表現に直結するんだなって感じていました。水景制作と自然風景の撮影は、本当に似ているところがあってこの展覧会でもその点を感じていただけるような展示構成になっています。



**本間 裕介 (46)**  
Yusuke Homma  
天野 尚とは自身にとって、近い存在でありながら、もっとも遠い存在だったと語るADA水景クリエイターのリーダー。イベントポスターでの天野の背中が大きく見えたとか。



今回の展示水景 水槽サイズ：W180×D60×H60 (cm) 制作：本間 裕介



**井上 大輔 (35)**  
Daisuke Inoue  
既存概念にとらわれない独自のレイアウト表現は、NAホビイストからの評価も高い。ネイチャーアクアリウムの動画撮影なら自称世界ナンバーワン。



今回の展示水景 水槽サイズ：W180×D60×H60 (cm) 制作：井上 大輔

**井上** 水景制作にリンクする観点から、本間さんが注目して欲しい写真というのはありますか。

**本間** 奥入瀬溪流の写真ですね。日本的な和の風景で、侘び寂びを感じられると思います。水の流れがあって、倒木や流木が苔むしていたり、シダ植物が群生していたり、いろんな自然要因が絡み合いながら長い時間をかけて、こういった美しい景観が生まれることがよく理解できます。天野の撮った生態風景写真は、ただ美しい写真というのではなく、その景観に至るまでの自然のプロセスみたいなものが感じ取れると思うんです。

**井上** そうですね。だから今回はネイチャーアクアリウムの視点で撮影された写真を中心に展示されているんですね。そういう視点で水景を見たときに、構図の組み方とか水草の配植とか、どうしてこうなっているんだろうと、自ず

とわかるようになると、よりいっそうネイチャーアクアリウムを深く理解できますね。

**本間** そうだね。井上さんは動画制作ですつと水景制作の様子とかを撮ってたよね。それこそ会場では、すみだ水族館の自然水景の水中動画とか、水景クリエイターのレイアウト制作のダイジェスト動画が放映されているわけですが、実践的なレイアウトノウハウなどは動画情報の方がわかりやすくていいよね。

**井上** 自分の場合も、天野がレイアウト制作するときには、だいたい動画撮影をしていたので天野の言動からレイアウト制作のイロハを学んだという経験があります。レイアウト制作の動画とかは、どんなふうにならなっていくのかがわかりやすくなっているの、水景と合わせて見ていただくと面白いと思いますし、現場の臨場感もわかります。

**本間** 動画は音声もあるので、水景クリエイターの言動などからも水景に対する考えも知ることができるわけですが、我々の人柄も出てしまうね。

**井上** 大丈夫、カッコよく編集しておきましたから（笑）。

**本間** 話をまとめると、「創る」と「撮る」は互いに関係していて、それを理解することがネイチャーアクアリウムの深い造詣につながるということなんですが、そこを意識して作品を見ていただくとより楽しめると思います。あとは会場内は撮影可能なので、水景を被写体にいる撮影してみるのも今の時代に合った楽しみ方かなと思いますね。

AREA:1



**オープニング**  
ウェルカムフォトとして、天野 尚が自宅に設置した4mの水景を大判パネルで展示。天野の初期の水景写真やエピソード、愛用品を見ることが出来る。

AREA:4



**ネイチャータワー360°**  
特別展示として245種を超える植物が植栽されているネイチャータワー360°。制作の背景ともなる世界三大熱帯雨林の生態風景写真も展示。

AREA:2



**天野 尚の水中世界**  
新規の特大写真パネル3点の水景写真を初展示。撮り下ろしの水中動画「すみだ水族館 自然水景」への没入体験上映。

# NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO

ネイチャーアクアリウムエキシビジョンは6つのエリアに区分され展示が行われています。ここではそれぞれのエリアの様子を簡単にご紹介しましょう。

AREA:3



**天野 尚の視点**  
写真家天野 尚による生態風景写真。国内に限らず、世界三大熱帯雨林を撮影し、克明な描写力で後世に自然の美しさと大切さを伝える。



**3mネイチャーバルダリウム**  
このエリアの最後には、ネイチャーアクアリウムの表現を取り入れた3mの大型ネイチャーバルダリウムを展示。定期的にミストが発生するように管理されている。



水景サイズ:W300×D60×H70(cm)

AREA:5



**ネイチャーアクアリウムの世界**  
本展のメインであるADA水景クリエイター制作のネイチャーアクアリウム作品を多数展示。各個人の個性やコンセプトが活かされた水景が立ち並び。

AREA: 6



**エンディング**  
天野 尚の意志を受け継いだ水景クリエイター5名の紹介や、IAPLC2021上位27作品をパネル展示。撮影スポットも楽しめる。

ADA SHOP



ADAの書籍と共に特別取材で作られたタブロイド紙。  
サイズ:W260×H430(mm)  
ページ数:20頁 フルカラー  
定価:¥880(税込)  
制作:STRAIGHT <http://straight-books.com/>

**【販売コーナー】**  
ここではイベント限定の公式グッズの他、ポスターやandADAのグッズ、DOOAのミニバルダリウムの展示販売、ガラスポットMARUやSHIZUKUで楽しむ生体製品を販売。

**【ミニバルダリウム制作 ワークショップ】**  
会期中の土・日・祝日に1日3回実施。(12:00~14:30~17:00~)  
料金:¥5,500(税込) or ¥11,000(税込)。  
所要時間:30~60分、各回4名(当日先着順)  
※詳しくは東京ドームシティ Gallery AaMo HPIにてご確認ください。  
<https://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/event/nae2021tokyo.html>



ミニバルダリウムの制作ワークショップを週末開催予定。



Tシャツ  
サイズ:S,M,L  
定価:¥3,850(税込)

ステッカー  
サイズ:W80 x H108mm  
定価:¥385(税込)

STRAIGHT社により制作された長場 雄氏のイラストによるTシャツやステッカーも販売。



NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO GOODS

期間中、販売コーナーではさまざまなグッズを販売しています。販売コーナーはチケットをお持ちでない方でもご入場いただけます。

※商品画像はイメージです。※在庫がなくなり次第販売終了です。



(幅40mm・4巻き)

**水景 キュアリングテープ**  
ADA水景クリエイターのネイチャーアクアリウムを5作品、半透明なテープにプリント。貼った後でも簡単にはがすことができます。  
価格 ¥825(税込)



(直径55mm・厚さ4mm)

**NAキーホルダー**  
アクリル製のキーホルダーに水景写真をプリントしました。ADAの月刊誌『アクア・ジャーナル』の創刊号を飾った、天野 尚が魚眼レンズで撮影した水景写真を使用しています。  
価格 ¥770(税込)



(190×190mm)

**NAクリーニングクロス**  
天野 尚の水景写真を球体に加工した写真8点を使用した、クリーニングクロスです。マイクロファイバークロスですので、メガネや小物のクリーニングに活用できます。  
価格 ¥770(税込)



(S, M, L, XL 4種類、黒のみ)

**TAKASHI AMANO Tシャツ**  
『NATURE AQUARIUM EXHIBITION 2021 TOKYO』のメインビジュアルをプリントしました。いつまでもアマノイズムを胸に。  
価格 ¥3,850(税込)



(S, M, L, XL 4種類、白のみ)

**NA コンセプト Tシャツ**  
ADAのスローガンの1つである「小さな生命を愛せずして、大自然を語ることはできない」をTシャツにプリントしました。アクアリウムが、誰よりも大自然の復活を夢見ている。  
価格 ¥3,850(税込)



(40g、サイダー、メロン、いちご3種入り)

**AQUA KISS キャンディ**  
天野 尚が発案した、五感を刺激するネイチャーアクアリウムグッズの一つ。水景を眺めながら舐めるキャンディとして命名された企画をイベントグッズとして製品化。  
価格 ¥770(税込)



(200mL、直径84×高さ90mm)

**シンボル デュアルガラスポット**  
2層構造のガラス容器です。底面に本イベントのシンボルマークが入っています。耐熱ガラス2層構造のため、保冷、保温にも優れています。  
価格 ¥1,700(税込)  
※電子レンジ加熱非対応



(105×51mm)

**ADA クロスホルダー**  
水槽管理で使用するクロスなどを切れ込みに差し込むだけで、簡単にホールドすることができます。カラビナをベルトループに取り付けて水槽の管理作業が行えます。  
価格 ¥880(税込)

STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.  
©2021 Printed in JAPAN

Publisher

天野 しのぶ

Art Direction

NATURE AD DESIGN

Design

丸山 悟司 / 市川 亮 / 高遠 将史 / 板橋 広夢

Editor

杉本 俊輔 / 岩堀 康太 / 小川 龍司 / 滝沢 瑞生 / 沓澤 亮介

総監修

大岩 剛 / 写真監修・阿部 正敏

Published by

株式会社 アクアデザインアノ  
<https://www.adana.co.jp>

Printed by

株式会社山田写真製版所